

情 報 公 開 文 書

研究の名称	進行非小細胞肺癌免疫チェックポイント阻害剤治療症例における腫瘍浸潤マクロファージと生存期間との関係に関する解析を目的とした観察研究
整理番号	
研究機関の名称	国立大学法人 富山大学
研究責任者	内科学（一）准教授 猪又峰彦
研究の概要	<p>【研究対象者】 当院にて2019年から2023年の間に免疫チェックポイント阻害剤による治療を受けた非小細胞肺癌の方。</p> <p>【研究の目的・意義】 免疫チェックポイント阻害剤によって進行非小細胞肺癌では生存率の上昇が得られましたが、いまだ不良な転帰をたどる患者さんが多く、さらなる治療効果の改善が必要とされています。この研究では非小細胞肺癌における免疫チェックポイント阻害剤の効果に関係する免疫細胞を解析し、新たな治療開発に貢献できるデータを示すことを目的とします。</p> <p>【研究の方法】 本研究では過去に当科で診療した進行非小細胞肺癌の患者さんの病理検体を使用し免疫染色を行い、免疫チェックポイント阻害剤の効果との関係を解析します。</p> <p>【研究期間】 研究実施許可日から2028年3月31日まで</p> <p>【研究結果の公表の方法】 学会や医学雑誌での発表を予定します。</p>
研究に用いる試料・情報の項目と利用方法（他機関への提供の有無）	本研究では、診療情報（年齢、性別、身体所見、治療歴、肺癌治療開始日と終了日、最終受診日、画像所見、血算生化学検査結果など）と病理検体における免疫染色結果を研究に用います。また本研究では2019年から2023年の間に免疫チェックポイント阻害剤による治療が開始された非小細胞肺癌の方を対象とすることから、過去に本学で行われた研究（研究番号R2020042「非小細胞肺癌における免疫チェックポイント阻害剤治療効果と末梢血 effector memory T細胞との関係に関する解析」）において解析対象なった方を含みます。当該研究の対象に選択された方においては、当該研究に際して測定された末梢血のフローサイトメトリー結果を本研究において二次利用します。これらは他の医療機関に提供されることはありません。
研究に用いる試料・情報を利用する機関及び施設責任者氏名	富山大学附属病院 病院長 林篤志
研究資料の開示	研究対象者、親族等関係者のご希望により、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で研究計画書等の研究に関する資料を開示いたします。
試料・情報の管理責任者（研究主機関における研究責任者氏名）	診療情報は富山大学で管理されます （責任者：富山大学内科学（一） 猪又峰彦）
研究対象者、親族等関係者からの相談等への対応窓口	研究対象者からの除外（試料・情報の利用または他機関への提供の停止を含む）を希望する場合の申し出、研究資料の開示希望及び個人情報の取り扱いに関する相談等について下記の窓口で対応いたします。 電話 076-434-7287 E-mail minomata@med.u-toyama.ac.jp 担当者所属・氏名 富山大学内科学（一） 猪又峰彦